

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-Kouhei.org

皆さん、こんにちは。新緑が目にあぶしい季節になりました。

覚王山周辺の寺社仏閣、名刹を紹介してきます今年のかわら版。今月号は**台観寺(たいかんじ)**です。

\*文中( )内の数字は参照号

## ★行基作の阿弥陀如来

台観寺は日泰寺本堂の東、姫が池通を渡った先、三月号(五十七号)で紹介した**大龍寺**の隣にあります。ご本尊は**光と長寿**の仏様である**阿弥陀如来**(三十九号)。**行基**作と言われています。

このご本尊、もとは三重県桑名郡の**円明寺**にあったようですが、お寺が水害で流失。ご本尊を守っていた名古屋在住の**堀栄七氏**が大正八年に覚王山に本堂を建立。ご本尊を収めました。堀栄七氏の法名は**台観**。寺号はこれに因んで台観寺になりました。



阿弥陀如来



## ★弘法大師作の大黒天

台観寺は、**弘法大師作の大黒天**像が祀られていることでも有名です。

大黒天は**七福神**の一人(四十五号)。**財福神**とも呼ばれ、**財産の神様**として広く知られています。が、**知恵の神様**という一面もあるそうです。

甲冑に身を固め、左手に**宝棒**、右手に**知恵袋**を持っています。台観寺の大黒天は**知恵さずけのなごや大黒**として親しまれております。

よく考えてみれば知恵も人間にとっては財産みたいなもの。そういう意味かもしれないですね。

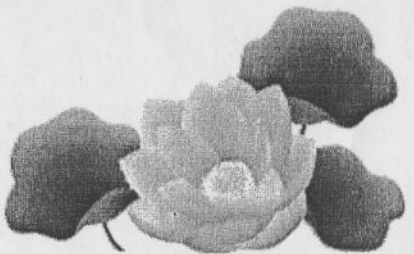
## ★法華経の「華」は蓮の花

台観寺は覚王山周辺には数少ない**天台宗**のお寺。天台宗の開祖は**伝教大師最澄**。真言宗の開祖、**弘法大師空海**

と同じ時代に活躍。最澄、空海は日本  
仏教の両巨頭です。

最澄、空海は偶然にも同じ遣唐使船  
に乗って唐(中国)に留学。帰国後に  
それぞれ天台宗、真言宗を開きました。  
天台宗の經典は**法華經**。仏教の經典  
はもともと**サンスクリット語**という言  
葉で書かれていました。法華の語源は  
**サツダルマ**(=正しい教え) **フンダリー**  
**カ**(白い蓮の花)。蓮の花は「咲いた  
ときから実を結んでいる」ことから、  
人は誰でも生まれながらにして**仏性**  
**(ぶっしょう)** = **実** = **慈悲の心**を備えてい  
るといふ考え方を表現しているそう  
です。

法華經は**正法蓮華經**、**妙法蓮華經**、  
**添品妙法蓮華經**の總称。**南無妙法蓮華**  
**經**という**お題目**を唱えることで**仏性**  
に従った日常生活を目指します。



### ★「空」と「久遠実成」

ちよつと難しくなってきましたが、  
もう少し勉強してみます。

法華經は全部で**二十八品(ほん)**の  
文章から成り立っています。前半十四  
品を**迹門(しゃくもん)**、後半十四品を

**本門(ほんもん)**と呼びます。

迹門のテーマは「**空(くう)**」。全ての  
ものは**縁起**によって成り立っている  
に過ぎず、色も形もない「**空**」の存在。  
そうした本當の知恵を学び、物ごとに  
こだわらない生き方を説いています。  
本門のテーマは「**久遠実成(くおん**  
**じつじょう)**」。お釈迦様は悟りを開いた  
のではなく、もともと**仏**であったとい  
う教え。人は生まれながらにして**仏性**  
を持っているということと関係があ  
りそうですね。

### ★聖徳太子と法華經

日本への仏教伝来は西暦五三八年。  
そして、**日本書記**には六〇六年に**聖徳**  
**太子**が法華經の講義を行っていたと  
記されていますので、ずいぶん古くか  
ら親しまれた經典のようです。



聖徳太子像

### ★来月は桃厳寺

さて、来月も四月号(五十八号)に  
続いて**覚王山縁(ゆかり)**の戦国武将、  
**織田信長公**に関わりの深いお寺をご  
紹介します。本山にある曹洞宗のお寺、  
**桃厳寺**です。乞うご期待。